

**(仮称)総合ミュージアムの整備にあたって
の基本的な考え方(たたき台)を考える**

2023.10.28(土)

博物館友の会例会

種田貴司

1 自己紹介

2 議論の前提

3 ミュージアムってなんだ？

4 函館の博物館

5 私の博物館

1 自己紹介

昭和33年(1958) 函館で出生

昭和46年(1971) 中学2年生の時にムツゴロウさん(畑正憲氏)を知り，獣医をめざす

昭和52年(1977) 受験に失敗し獣医を諦め，魚医をめざし北海道大学水産学部に進学

昭和56年(1981) マージャンに溺れ大学院への進学を諦め，函館市に就職

平成30年(2018) 函館市教育委員会，函館市企画部，保健福祉部などに勤務し退職

この間，中央図書館や縄文文化交流センターの整備に係わったほか，水族館整備基本構想の策定などに従事

2 議論の前提

博物館本館，郷土資料館，北洋資料館，北方民族資料館，文学館の統合

「今後の公共施設のあり方に関する基本方針に基づく『各施設の今後の方向性』について」
(平成26(2014)年に函館市がパブリックコメントを経て策定)

「今後，西部地区における総合**博物館**の将来的な整備を検討する中で，施設の統廃合も併せて検討」

「(仮称) 総合**ミュージアム**の整備にあたっての基本的な考え方 (たたき台)」
令和4(2022)年5月公表

「基本的な考え方 (たたき台) 」に対するパブリックコメント実施
令和4(2022)年7月～9月

パブリックコメントおよび各団体からの意見公表
令和5(2023)年2月

大泉潤市長の公約 (令和5(2023)年)

「総合**ミュージアム**の開設」

3 ミュージアムってなんだ？

博物館・記念館・美術館・展示館・陳列場・資料館・標本室

博物館であるならば

博物館法

「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、**展示**して教育的配慮の下に**一般公衆の利用に供し**、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために**必要な事業を行い**、併せてこれらの資料に関する**調査研究をすることを目的とする機関**のうち、登録を受けたもの

I COM(international council of museums)

博物館は、有形及び無形の**遺産を研究、収集、保存、解釈、展示**する、社会のための非営利の**常設機関**である。博物館は一般に**公開**され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、**コミュニティの参加とともに博物館は活動し**、教育、楽しみ、省察と知識共有のための**様々な体験を提供**する。

3 ミュージアムってなんだ？

博物館であるならば

施設ではなく機関

収集，保存，展示だけではなく事業，活動，研究が不可欠
施設を整備するだけでは博物館にはならない

展示館・陳列場・資料館であるならば

展示・陳列のみで構わない

機関としての博物館がなくなってしまう

博物館からミュージアムへの言い換えがすり替えに？

4 函館の博物館

(1) 経 過

- 明治12年(1879) 函館公園内に開拓使函館仮博物場(現1号館)開場
開館時は市民が殺到し初年度4万人以上が観覧 人口は3万人台
函館県博物場, 庁立函館商業学校附属商品陳列場, 区立函館水産陳列場などとして使用
- 昭和23年(1948) 函館公園内市立図書館内に市立函館博物館発足
市立函館博物館建設期成委員会結成 募金活動を行う
- 昭和24年(1949) サイベ沢遺跡を発掘調査し小中学校で移動展示会を開催
- 昭和25年(1950) 函館公園内に博物館の建設を始めたが資金難から工事が中断
- 昭和30年(1955) 昭和29年に開催された北洋漁業再開記念博覧会に使用した建物を使い五稜郭分館が開館
- 昭和41年(1969) **市立函館博物館開館** 博物館講座を開催
- 昭和44年(1969) 北海道指定文化財旧金森洋物館を**郷土資料館**として開館
- 昭和57年(1982) 函館市**北洋資料館**開館
- 平成元年(1989) 函館市北方民族・石川啄木資料館開館
- 平成5年(1993) 函館市**北方民族資料館**と函館市**文学館**に分離・開館
- 平成19年(2007) 市立函館博物館五稜郭分館閉館
- 平成22年(2010) 箱館奉行所開館
- 平成23年(2011) 函館市縄文文化交流センター開館

4 函館の博物館 (2) 博物館の今

利用者数

SARANIPNo.3及び公共施設カルテより

区 分	昭和45年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
博物館本館	44,878人	11,655人	14,756人	10,836人
分館(奉行所)	77,632人	(150,086人)	(156,533人)	(76,995人)
郷土資料館	3,594人	7,117人	7,805人	4,864人
北洋資料館	—	14,604人	13,604人	9,567人
北方民族資料館	—	28,322人	25,142人	19,384人
文学館	—	14,566人	10,520人	7,050人
計	126,104人	76,264人	71,827人	51,701人
縄文文化交流センター	—	18,752人	20,402人	29,838人

4 函館の博物館

(2) 博物館の今 収蔵資料

SARANIPNo.15収蔵資料概数一覧(令和5年3月31日現在)

分類	件数	割合	点数	割合
博物館史	455件	0.7%	1,709点	0.2%
地質鉱物	2,036件	3.2%	2,936点	0.4%
植物	10,335件	16.5%	10,358点	1.5%
動物	11,139件	17.8%	24,288点	3.5%
考古	11,527件	18.4%	585,117点	84.7%
歴史	6,632件	10.6%	23,636点	3.4%
民俗	7,465件	11.9%	21,825点	3.1%
民族	6,405件	10.2%	12,419点	1.8%
美術工芸	6,751件	10.8%	8,134点	1.2%
合計	62,745件	100.0%	690,422点	100.0%

4 函館の博物館

(2) 博物館の今 事業・活動

SARANIP・HP

昭和46(1971)年度		令和5(2023)年度	
市民講座(考古学)	5日	渡り鳥の観察会	1日
市民講座(植物)	3日	大学生と歩く西部地区再発見	1日
市民講座(美術)	1日	夏休み自由研究	8日
科学教室	1日	五稜郭探求	1日
夏期理科相談室	7日	秋の美術鑑賞会	1日
冬の公園と博物館で遊ぶ会	6日	函館公園めぐり	1日
		アイヌの技法でコースターをつくろう	2日
		体験！日本画講座	6日
		秋の自然観察会	1日
		メノココマキリをつくろう	1日
		冬休み自由研究	2日
6講座	23日	11講座	25日

令和5(2023)年度は上記のほかに郷土資料館では指定管理者が講談会や歴史講座を開催

館報サラニップ 昭和40年からほぼ毎年発行 博物館事業の報告，資料紹介など
 研究紀要 平成2年から毎年発行 各種調査・研究活動の成果を発表

4 函館の博物館

(3) 基本的な考え方(たたき台)に書いてあること

メインコンセプト	サブコンセプト
<p>① <u>博物館法が規定する機能を持ったミュージアム</u></p>	<p>■ <u>函館の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学などに関する資料を収集・保管・展示するミュージアム</u></p>
<p>③ 函館の <u>歴史や文化を総合的に学べる</u> ミュージアム</p>	<p>■ 函館が歩んできた <u>歴史</u> や育んできた <u>文化に関する資料</u> (略) を <u>展示</u> するミュージアム</p> <p>■ 函館の <u>歴史や文化</u> に関する新たな <u>資料</u> (略) を <u>収集し展示</u> するミュージアム</p> <p>■ 函館の町並みの移り変わりとその時代の出来事を知ることができるミュージアム など</p>
<p>④ <u>すべての市民や観光客が楽しめる</u> ミュージアム</p>	<p>■ (略) デジタル技術を活用したミュージアム</p> <p>■ (略) 多言語解説を行うミュージアム</p> <p>■ (略) 誰もが理解し楽しめる <u>解説や案内</u> を行うミュージアム</p> <p>■ <u>総合学習や修学旅行に豊かな学びや体験の場を提供</u> できるミュージアム など</p>

5 新しい博物館を考える

(1)水族館構想策定時の体験

①旭山動物園の再生

年	旭山動物園の出来事	飼育係の人達
S42(1967)	動物園開園	
S58(1983)	来園者約60万人(全盛期)	
S61(1986)		動物園の思いや夢を語り合いイラストに描く
R 1(1989)		イラスト約20枚をもとに「旭山動物園のあり方」作成
H 6(1994)	エキノコックスが発生し一時休園	
H 8(1996)	来園者数26万人 廃園の噂	
H 9(1997)	イラストの中の1枚「こども牧場」が実現	
H11(1999)	「あり方」をもとに「旭山動物園基本計画書」を策定し議会に報告	
H16(2004)	月間入園者日本一	もぐもぐタイムやなるほどガイド, ワンポイントガイドのほか, 手書き看板で来園者に動物の魅力を伝える
H19(2007)	年間入園者数300万人突破	

5 新しい博物館を考える

(1) 水族館構想策定時の体験

① 旭山動物園の再生

H16 (2004) 年 旭山動物園を訪問し坂東副園長(当時)と面談

- ・マンネリ化して職員のやる気が失われそうになった時に、苦しくても飼育員が夢を語り合ったことが今日に繋がった。職員が夢を持ってない動物園に未来はない。
- ・動物園の中で単に飼育するだけではなく自然の中と同じように生活し繁殖するために、フィールドワークを継続し、進化する動物園をめざす。
- ・動物園は博物館ではあるが、継続して多くの人に動物のことを理解して貰うためには採算性が重要であり、教育委員会が所管することには反対。旭山動物園は経済部所管

5 新しい博物館を考える

(1)水族館構想策定時の体験

②水族館基本構想策定時の議論 (平成16(2004)年)

- ・水族館を建設することが目的ではない。建てた水族館で何をするのか、ソフトが重要
- ・ソフト事業としてなにをするのか、施設内での活動だけでなく、館外フィールドでの学習プログラムが不可欠であり、事前に体験学習プログラムを策定し実施する。
- ・体験学習プログラムを実施するには、そのための人材がいなければ失敗する。
- ・施設整備の前に人材育成を行うべき
- ・こういった施設を作るのか、どういう活動を行うのかを議論するには市民参加が不可欠

5 新しい博物館を考える

(2) 新しい博物館に求められること

① 総合博物館であること

i 博物館であって欲しい

- ・単なる展示館，観覧施設ではなく，博物館法が規定する機能を持った博物館として，新たな収蔵品を収集・保管・展示するとともに，学芸員が主体性を持って調査・研究し，その成果を発表し，市民・利用者が楽しみながら体験，学習できる機関であって欲しい。
- ・資料収集のための予算を確保し，学芸員による調査・研究とその成果の発表する企画展の開催や図録の作成及び魅力的な講座の開催などが不可欠

ii 総合であって欲しい

- ・歴史や文化に限定することなく，先人が収集した自然科学や美術・工芸など幅広い分野の資料が活用され，さらに発展できるような総合博物館であって欲しい。
- ・総合博物館と称するのであれば自然科学，美術・工芸分野をも学べることが不可欠

5 新しい博物館を考える

(2) 新しい博物館に求められること

②採算性を考慮する

i 魅力的な博物館

- ・市民にも函館を訪れる人にも興味を持ってもらえるような魅力ある施設を建て、何度でも通いたくなる、参加したくなる運営を行って欲しい。
- ・総合博物館の展示あるいは企画を目的に函館を訪れる人が増えると嬉しい。

ii 訪れやすい場所に建てる

- ・市民にも観光客にも公共交通で、可能であれば定時性が高く運行頻度の多い市電沿線が望ましい。
- ・自家用車やバスで訪れる人たちのために広い駐車場が欲しい。

iii 建設費及び運営費を節約する

- ・民間の資金や経営能力、技術的能力を活用し、サービスの向上やコスト削減を図るため、PFIなどの手法を検討してはいかがか。

iv クラウドファンディングの実施

- ・今年8月国立科学博物館が「地球の宝を守れ」を合言葉に1億円を目標としたクラウドファンディングを行い、初日で目標金額を超え、10月4日現在7億8千万円の支援が寄せられている。
- ・函館博物館でも、建設費や運営費に充てるためクラウドファンディングを実施し、博物館への一定額が集まったら総合博物館を建設する、目標を下回ったら統合は諦め現在の施設の改修に充てるといった方法も考えられるのでは。

5 新しい博物館を考える

(3) どこに建てるのか

① 規模の想定

施設名	敷地面積	延床面積	収入	支出	収支差
博物館本館	1,125.61m ²	2,728.00m ²	1,343千円	71,434千円	70,091千円
郷土資料館	199.99m ²	286.75m ²	259千円	7,000千円	6,741千円
北洋資料館	(21,696.56m ²)	665.34m ²	26千円	34,320千円	34,294千円
北方民族資料館	1,734.94m ²	3,043.11m ²	3,498千円	49,866千円	46,368千円
文学館	970.80m ²	1,026.86m ²	1,298千円	63,677千円	62,379千円
計	4,031.34m ²	7,750.06m ²	6,424千円	226,297千円	219,873千円
中央図書館	11,707.81m ²	7,687.13m ²	3,366千円	322,139千円	318,773千円
箱館奉行所	公園敷地内	1,83.10m ²	113千円	24,219千円	24,106千円
縄文文化交流センター	7,140.93m ²	1,733.43m ²	6,879千円	64,939千円	58,060千円
亀田交流プラザ	3,985.40m ²	7,387.55m ²	20,766千円	145,532千円	124,766千円

※北洋資料館の敷地面積は芸術ホールを含む敷地面積のため計に含めていない

5 新しい博物館を考える

(3) どこに建てるのか

② 利用可能な市有地

場 所	面積	備 考
西小学校・西中学校跡地	15,377.04m ²	市では民間事業者による活用を検討中
函館病院跡地	13,789.29m ²	ペリー広場，観光バス駐車場として使用
凌雲中学校跡地	13,554.36m ²	アクセス道路が狭隘
中島小学校	10,778.80m ²	中部小学校への統合時期不明
千代田小学校	13,280.48m ²	八幡小学校への統合時期不明

5 新しい博物館を考える

(4) 運営にあたって考えておきたいこと

- ・ 市民が何を望むのか，小中学生や高校生，大学生はじめ，各世代へのアンケート調査や対話集会を重ねることで意見集約していくことが大切
- ・ 博物館運営の主体となる学芸員がなにをどうしたいのか議論することが第一歩
- ・ 理想を掲げ，現実に落とし込んでいく作業を誰が行うのか。
- ・ 他自治体での経験を有する専門家の知見も必要
- ・ 焦ることなく時間をかけてじっくりとより良い形態を考えよう

5 新しい博物館を考える

(4) 私の望み

- ① 活動の対象
- ② 建設場所
- ③ 運営方法

5 新しい博物館を考える

(4) 私の望み

① 活動の対象

- ・歴史・文化に限定せずに、動植物等自然も対象とした総合博物館であって欲しい。
- ・動物分布の境界線であるブラキストンラインである津軽海峡と太平洋，噴火湾に囲まれ，函館山など多様な生物が生息する自然環境に恵まれ，地形的にもトンボロ（陸繋砂洲）に市街地が広がる特性を生かした総合博物館であって欲しい。海洋生物の生態を学べるものが望ましい。ただし，多くの市民が議論するなかで歴史・文化に収れんするのであれば止むを得ない。その場合は，総合博物館ではなく，歴史・文化博物館と称していただきたい。
- ・なお，館内の活動に止まらずフィールドでの活動，学校などへのアウトリートは不可欠である。

5 新しい博物館を考える

(4) 私の望み

② 建設場所

- ・ 基本的な考え方で強調されているのが、歴史・文化であることを踏まえると、函館市民の心のふるさとである西部地区が望ましい。また、観光客の動線を考慮すると利用可能な市有地のなかでは函館病院跡地が相応しいと思う。
- ・ この場所は、幕末、箱館奉行所の設計者として知られる武田斐三郎が教授を勤めた諸術調所があった場所であり、調査・研究機関でもある博物館に最適な場所である。
- ・ なお、この場所は西部地区都市景観形成地域になっており、特に基坂沿いは伝統的建造物群保存地区として高さ制限等もあるが、地下を活用して低層階での建物にすることで建築可能と思われる。

5 新しい博物館を考える

(4) 私の望み

③ 運営用法

- ・ 専門職である学芸員が，その持てる能力を発揮し，利用者と共に成長し，学びの楽しさを伝えることができる企画や事業を展開できる運営方法を選択して欲しい。
- ・ 函館市では，かつては学芸員として職員採用を行っていたが，現在は一般職として採用した職員の中から学芸員資格を持っている職員を博物館や文化財課などに配置している。これは学芸員だけでなく，社会教育主事や司書のほか，社会福祉士や精神保健福祉士なども同様に配置部署が限定され人事異動が停滞し組織が膠着化する恐れを心配していることと思われる。
- ・ このため，学芸員として採用された職員は減ってはいるものの，資格を有する学芸員が主体性を発揮して自分たちが望む運営方法を発信して欲しい。

おしまい

さあ、議論を始めましょう